

**令和 6 年度第 7 回神戸（表六甲河川）地域総合治水推進協議会
議事概要**

■日 時：令和 7 年 3 月 19 日（水）13：30～15：15

■場 所：神戸県民センター西神戸庁舎 4 階会議室

■出席者：協議会委員 12 名（内代理出席 2 名）

■議事

- （1）総合治水推進計画の改定について
- （2）今後 10 年間の主な取り組みについて
- （3）総合治水推進計画のフォローアップについて
- （4）神戸地方気象台からの情報提供

■配布資料

議事次第、出席者名簿、配席図

資料 1－1 神戸（表六甲河川）地域総合治水推進計画の改定概要

資料 1－2 神戸（表六甲河川）地域総合治水推進計画 本編（案）

資料 1－3 神戸（表六甲河川）地域総合治水推進計画 資料編（案）

資料 2 主な取り組み（令和 6 年度～令和 15 年度）

資料 3－1 地域総合治水推進計画のフォローアップの概要

資料 3－2 神戸（表六甲河川）地域総合治水推進計画 フォローアップシート
（今後の計画（令和 6 年度～令和 15 年度））

資料 3－3 神戸（表六甲河川）地域総合治水推進計画 フォローアップシート
（これまでの取り組み（令和 5 年度までの実績））

資料 4 令和 6 年度の防災気象情報の改善及び防災気象情報の体系整理について

参考資料 1 神戸（表六甲河川）地域総合治水推進協議会設置要綱及び公開要領

参考資料 2 令和 5 年度第 1 回神戸（表六甲河川）地域総合治水推進協議会 議事概要

参考資料 3 取り組み実績と課題（前回協議会資料）

■意見交換

本田委員

- ・今後 10 年の整備方針として下水道による浸水対策を進めると、実に漠然と記載されているが、県・市として、どのような形で進めるのか、もう少し具体的に説明していただきたい。

関係機関（神戸市下水道部管路課）

- ・神戸市においては、汚水についても雨水についても整備自体はほぼ終わっているが、整備基準が昔の基準であり、新しい基準に対しては、将来的には増強していく必要がある。
- ・資料 1－1 5 ページの、“気候変動を踏まえた浸水対策基本方針”は、気候変動を踏まえた浸水シミュレーションによる新しい基準に対応した方針であり、神戸市の雨水管のほとんどが海に直接放流している影響から、海面（潮位）の影響を大きく受けることが分かっており、これに対する対策を進めていく。
- ・これに対応した東川崎のポンプ場は春先から運転を開始する予定であり、引き続き、小さなポンプや海からの逆流を防ぐ逆止弁といった検討を進め、具体的な整備内容が決定し次第、地域の方に説明していく。

小巻委員

- ・ハード面と共にソフト面での啓発的な取り組みも提起されているが、受取る地域ではリード層を含め高齢化しており、防災のデジタル化への対応が難しい所もある。デジタル化の流れはこの時代に当然の事と思われるが、現状の中で治水・防災意識の涵養に結びつく組織的・具体的な手立ては検討されているでしょうか。

内藤委員

- ・神戸市の防災会議においても、防災コミュニティの有り方について今年議論となっている。その中で、防災コミュニティの高齢化等で、地域ごとに事情は違うが、担い手の方等の色々な問題が生じていることを踏まえ、来年度、神戸市において実情把握をし、そのうえで有識者の検討委員会を開いていく。防災コミュニティの活動状態に応じた効果的な支援を行っていかれるとの事である。県としてもそれに合わせた行動をとっていく。

関係機関（神戸市東灘区役所）

- ・神戸市としては、来年度、有識者会議の開催等を進めていくとともに、各区・地域の実情と防災福祉コミュニティや住民の方々の求めるニーズに合わせ、あきらめず、粘り強く説明していくしかない。
- ・神戸市では阪神淡路大震災から 30 年が経過し、ハード整備はかなり整備されているが、ソフト面の取り組みはなかなか追いついていないという現状である。そのため、地域の皆様と国・県・市がともに考え、若い世代に響くような普及啓発や取り組みを考えていく。

沖村委員

- ・頭で覚えるような訓練でなく、地域ごとの特徴を踏まえた身体で覚えるような防災・避難訓練等を行うことで、緊急時においても動きがとれるようになる。地域ごとに、特徴ある防災・避難訓練を取り入れることで、高齢者の方でも緊急時に動ける仕組みも必要と思える。

浪平委員

- ・下水道の整備・管理というものが消化器官のようなシステムだと感じており、平常時は分からないが、どこかがつまったり、故障した場合に大きな影響をきたす重要な取り組みである。日常生活に不可欠である上下水道の整備という地道な管理を行っていることを、市民の方にもっと啓発していく必要がある。

沖村委員

- ・“体で動く避難訓練・見学会”といった、目で見て、感じるという機会を多く提供することで、もう少し人々の理解が増える可能性があると思います。

■講演

神戸地方気象台からの情報提供

浪平委員

- ・地域福祉センターという神戸市の施設をあずかっているが、例えば、大雨警報が出た時に、どのような基準で閉館するといった判断が難しく、そういうものを教えてもらえるシステムや部署はあるか。

神戸地方気象台

- ・気象台ではそこまでの対応を行う人的な余裕はないが、使っていただきたい情報の提供数は増やしている。気象台では“キキクル”という、危険度分布を提供しており、気象台のホームページやスマートフォンへのプッシュ情報、テレビなどでみることができる。
- ・情報は待っていても追いつかない時代になってきており、自分で必要な情報をとりにいく、そして情報を取ってきたら行動につなげる、ということが現在の気象状況の中では必要となってきた。

関係機関（神戸市東灘区役所）

- ・神戸市では、昨年度からリアルタイム防災情報というホームページの運用を開始し、避難所の開設状況や気象警報や土砂災害警戒情報といった情報が一目で分かるホームページとなっている。
- ・LINE と提携して神戸市災害掲示板の運用も令和 6 年 12 月から始めており、ご自身がない周辺の例えば道路の通行止めなどの情報が投稿され、全員がリアルタイムで共有できるようになっている。ぜひ、この 2 つのシステムをご活用いただきたい。

沖村委員

- ・“そなえる”という言葉がやっぱり一番大切だと思います。住民の皆様は、災害をとめることはできないが、“そなえる”ことはできるので、それぞれの地区の住民と一緒にそなえる工夫ができれば、その地区の安全度はかなりレベルアップされた状況になると思います。

第7回神戸（表六甲河川）地域総合治水推進協議会 出席者名簿

【協議会委員】

（順不同、敬称略）

区 分	委員氏名	主な役職	代理人氏名
学識 経験者	沖村 孝	神戸大学名誉教授	
国	吉野 昌史	神戸地方気象台長	神戸地方気象台次長 熊谷 達也
兵庫県	内藤 良介	神戸県民センター長	
神戸市	久元 喜造	神戸市長	建設局部長(防災担当) 瀬川 典康
県民	木下 直俊	神戸市東灘区 福池小学校区防災福祉コミュニティ会長	
	浪平 博司	神戸市灘区 灘区稗原町二・三・四丁目自治会会長ほか	
	松田 久美子	神戸市中央区 東川崎ふれあいのまちづくり協議会委員長	
	小巻 建一	神戸市兵庫区 菊水防災福祉コミュニティ委員長	
	岩中 直樹	神戸市兵庫区 湊山地区防災福祉コミュニティ委員長	
	伊藤 鉄夫	神戸市長田区 真野地区防災福祉コミュニティ本部長	
	本田 智美	神戸市須磨区 須磨区自治会連合会会長	
	濱田 純一	神戸市垂水区 垂水区自治会連絡協議会会長	

議事録確定署名人

会長 神戸大学 名誉教授

沖村 孝

神戸県民センター長

内藤 良介